

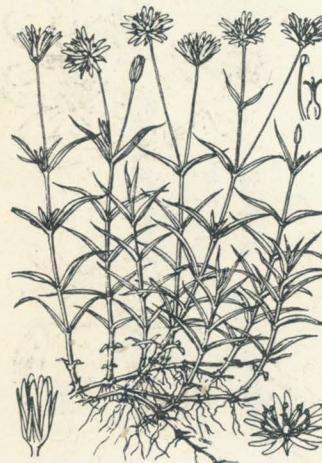
第1798圖

なでしこ科



第1799圖

なでしこ科



第1800圖

なでしこ科



のみのふすま (天蓬草)
Stellaria uliginosa Murr.
var. undulata Franch. et Sav.
 (= *S. undulata* Thunb.)

廢地竝ニ田圃ノ間等ニ普通ナル無毛ノ越年生草本ナリ。莖ハ多數叢生シテ地面ニ擴ガリ疎ニ分枝シテ長サ15-25cm許、綠色細長ニシテ平滑ナリ。葉ハ對生シテ無柄、長橢圓形或ハ卵狀披針形ニシテ銳頭ヲ有シ全邊ニシテ長サ5-20mm許、質軟弱ナリ。春ヨリ初夏ニ亘リテ莖梢ニ有梗ノ繖花序ヲ成シ、少數ノ白色小花ヲ開ク。花梗ハ繖長ナル絲狀ヲ成シテ平滑、苞ハ小形ニシテ尖リ膜質ナリ。萼ハ五片、披針形ニシテ銳頭、邊緣膜質ニシテ無毛、長サ3mm許アリ。花瓣ハ五片、萼片ト同長或ハ稍短ク、底部マデ深ク二裂ス。雄蕊ハ五、或ハ六、七數。卵形子房ノ頂ニ三或ハ二花柱アリ。蒴果ハ通常宿存萼ヨリ少シク長ク、六裂ス。和名ハ蚕の糞ニシテ其小形ノ葉ヲのみノ夜具ニ擬セシナリ。漢名 雀舌草(誤用)

おほばつめくさ
 一名 いはつめくさ
Stellaria floridula Fisch.
var. angustifolia Maxim.
 (= *S. nipponica* Ohwi.)

我邦中部北部ノ高山砂礫土或ハ岩縫ノ向陽地ニ生ズル質軟カキ綠色ノ多年生草本ナリ。莖ハ多數密ニ簇生シテ立チ、繖細ニシテ毛無ク、高サ5-15cm許。葉ハ對生シテ葉柄無ク、線形ニシテ上部漸次ニ狹窄シテ銳尖頭ヲ呈シ全邊ニシテ長サ1.5-3cm、質薄ク平滑ナリ。七八月ノ候莖梢ニ長梗ヲ抽キ、少數ノ白花ヲ開ク。花梗・萼片共ニ無毛ナリ。萼ハ五片、披針形ニシテ銳尖頭、邊緣膜質、長サ4mm許アリ。花瓣モ亦五片、萼片ヨリ長ク、二深裂シ裂片鈍頭ニシテ狹長ナリ。十雄蕊。卵形子房頂ニ三花柱アリ。蒴果ハ長橢圓形ニシテ宿存萼ヨリ少シク長ク、六裂ス。種子ハ周邊ニ乳頭状突起ヲ有ス。和名ハ大葉草ノ意ニシテ又岩爪草ハ岩間ニ生ズルつめくさノ意ナリ。

しこたんはこべ
Stellaria ruscifolia Willd.

我邦中部或ハ北部高山ノ砂礫地又ハ岩壁ニ生ズル多年生草本ニシテ全體平滑無毛ナリ。根莖ハ横行ス。莖ハ高サ5-20cm、簇生シ基部ヨリ分岐シ通ジテ葉多シ。葉ハ對生シテ葉柄無ク、剛質ニシテ帶白綠色ヲ呈シ、卵狀披針形乃至披針形ニシテ底部圓形或ハ微シク心臟形、先端ハ銳尖頭ヲ成シ、全邊ニシテ長サ5-30mmアリ。七八月ノ候、上部葉腋又ハ莖頂ヨリ長梗ヲ抽キ、少數ノ白花ヲ開ク。萼ハ五片、披針形銳頭ニシテ質剛ク、長サ5-8mm許。花瓣モ亦五片、萼片ヨリ長クシテ二深裂ス。概ネ十雄蕊。子房頂ニ三乃至五花柱アリ。蒴果ハ宿存萼ヲ伴ヒ、種子ハ瘤面ニシテ脊背ニ乳頭ヲ具フ。和名ハ色丹繁縝ニシテ初メ北海道千島ノ色丹島ニテ採集セシヲ以テ斯ク名ケラレタリ。

つるむらさき (落葵)
Basella rubra L. var. alba Makino.
 (= *B. alba* L.)

熱帶亞細亞ノ原產ニシテ人家ニ栽培セラルル纏繞蔓性ノ一年生草本ナリ。莖ハ長サ1m以上ニ達シ、葉ト共ニ肉質無毛ナリ。葉ハ互生シテ葉柄ヲ有シ、廣卵形全邊ニシテ鈍頭或ハ銳頭ヲ有シ、鈍底ニシテ長サ4.5-6cm許、上部ノ者ハ漸次ニ小形ト成ル。夏秋ノ間、葉腋ヨリ肉質ノ長花軸ヲ抽キ、多數ノ無梗小花ヲ穗狀ニ着ク。花ハ白色ニシテ後チ其頂漸ク粉紅色ヲ帶ビ、基部ニ數片ノ小苞ヲ有ス。莢ハ五片ニシテ正開セズ、下ハ短大ナル囊狀筒ヲ成シテ周壁厚シ。花冠ハ無シ。五雄蕊ハ子房周位ニシテ萼片ノ前ニ立ツ。卵圓形ノ一子房ニハ頂ニ一花柱直立シ末端ニ三岐セル柱頭アリ。花後ニ萼增大シテ球形ノ擬果ト成リ、紫汁多ク、内部ニ真正ノ球形一果實ヲ包ミ、果中ニ一種子アリ。莢ニ綠色ト紫色トアリテ其綠莢者ハ徳川時代ノ舊良品、紫莢者(*B. rubra* L.)ハ明治時代ノ新良品ニシテしんつるむらさきト云フ。和名蔓紫ハ其莢莢ヲ成シ其果(擬果)汁紫色ヲ染ムベシ故ニ斯ク云ヒ蔓ノ紫色ナル意ニ非ラズ。

すべりびゆ (馬齒莧)
 一名 いはいづる
Portulaca oleracea L.

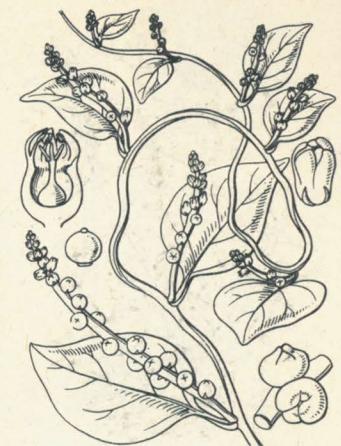
諸州到ル處極メテ普通ニ園圃路傍或ハ庭中等ノ向陽地ニ生ズル一年生草本ニシテ全體肉質無毛ナリ。根ハ白色。莖ハ株本ヨリ分岐シテ地上ニ偃臥シ或ハ傾上シ繁ク枝ヲ分多クノ葉ヲ着ク、長サ15-30cm許、平滑ナル圓柱形ニシテ紫赤色ヲ帶ブ。葉ハ紫赤色ヲ帶ビテ概ネ對生シ、長橢圓狀楔形或ハ笠狀楔形ニシテ長サ1.5-2.5cm許、全邊ニシテ薄厚ク基部狹窄シテ殆ンド短柄ト成ル。夏時枝端ニ聚リ葉心ニ三五ノ無梗小黃花ヲ着ケ日光ヲ受ケテ開ク。橢圓形ヲ成セル綠萼二片アリ。花瓣ハ五片ニシテ凹頭ヲ有ス。雄蕊ハ十二ニシテ黃色。子房ハ半下位ニシテ一花柱ノ上端ハ五枝ニ分ル。蓋果ハ熟スレバ其上半帽狀ヲ成シテ離レ内ニ長種柄アル多數ノ細種子ヲ藏ス。和名ハ滑莧ノ意ニシテ此草食用トナリ之レヲ茹デ食フニ粘滑ナレバ云フ、又其葉滑澤ナレバ云フナラント謂ヘリ。いはいづるハ這ひ意味無シ。

たちすべりびゆ (独耳草)
 一名 おほすべりびゆ
Portulaca oleracea L.
var. sativa DC.

野生無ク獨ダ人家ニ栽培セラルルヲ見ル柔滑ナル一年生草本ニシテ畢竟すべりびゆノ一變種ニ外ナラズ。草狀すべりびゆト相同ジト雖モ大形ニシテ莖ハ直立シ枝ハ斜上シテ共ニ紫赤色ヲ帶ブル平滑ナル圓柱形ヲ呈ス。高サ25cm内外ニ及ブ。葉ハ稍大形ニシテ質稍肥厚シ倒卵形ヲ呈シ全邊ニシテ下部廣楔形ヲ成シ葉先ハ圓頭ヲ有ス。夏月枝頭ニ集ル葉間ニ黃色ノ數小花ヲ着ケ日光ヲ受ケテ開ク。萼ハ二片。花瓣ハ五片、萼片ヨリ稍長ク先端四凹頭ヲ呈ス。雄蕊ハ十二本アリ。子房ハ半下位ヲ成シ、一柱頭アリテ末端五岐ス。果實ハ蓋果ニシテ熟スレバ上半帽狀ヲ成シテ脱落ス。種子ハ碎小ニシテ微細ナル突起ヲ密布ス。和名ハ立滑莧、大滑莧ノ意ナリ。

第1801圖

つるむらさき科



第1802圖

すべりびゆ科



第1803圖

すべりびゆ科

